

第11回西日本選手権実施にあたっては、多くのエントリーをいただき誠にありがとうございます。本大会は他水域とは異なるレース形式ですので、参加各団体、各クルーの皆さまにつきましては、以下の内容をご一読いただき、円滑な大会運営へのご理解、ご協力をお願いいたします。

## 1.大会の趣旨について

本大会は、これからのシーズンに向けて競技力を高めていくためのステップとなるレースと位置づけ、各団体、各クルーの今シーズンの競技力向上を主目的として開催します。様々な競技レベルの選手が、シーズン中に直面するあらゆる場面を想定し、準備期間であることから今後のレースに活かせるサポートを行います。そのため、競漕規則等には準じて大会は行いますが、周知徹底を図るという趣旨により軽度の違反については規則よりも軽い罰則を与えることがあります。ただし、**時間については大会進行に影響が出るため守って頂きますようお願いいたします。**

## 2. 浜寺水域について

浜寺水域の航行ルールについてはコース図を参照してください。

**漁港入口付近では停止せず、速やかに漁港入口付近から移動**してください。

フィニッシュラインを越えてのターンは、漁港に近づくため極力控えるようお願いいたします。

大会期間中を含め、日没後の練習は出来ません。

漕艇センター対岸(東岸/浜寺公園側)は潮位により、座礁する可能性があります。

潮位が浅い場合は岸から**十分に離れて(おおよそ15m以上)**漕行ください。

コース西岸(漕艇センター側)に記されている黄色の0~2のエリア(0m~200m)は次レースのクルーのみ航行可(待機水域)とします。それ以降のレースに出漕するクルーは黄色の2~15でウォームアップを行ってください。15~17は出艇用棧橋と近いいためウォームアップ時は近寄らないようお願いいたします。

練習水域は混雑が予想されます。安全に十分注意して漕行してください。

(監視艇を練習水域に配置し、衝突が極力無いよう声掛けは行います)

**レース時と練習時には、棧橋の使用ルールが異なります。**レース時には安全面、混雑回避の面から原則北側(スタート側)棧橋は出艇用、南側(ゴール側)棧橋は帰艇用としてご使用いただきますようご協力お願いいたします。

**帰艇する際は、出艇用棧橋以外は奥の青色棧橋等を積極的にご利用いただき、奥から詰めて帰艇をお願いいたします。(参考資料ご確認ください)**

※例年、帰艇用棧橋が混雑します。

練習時には、バウボールをフィニッシュライン方向に向け北側からの着岸でご協力をお願いします。南側からバウボールをスタートライン方向に向けての着岸はレース時のみとなります。

自らの身体を守るため、救命具を携行、装着するなどの安全対策を、各クルーの責任において実施してください。※コース図をよく確認してください

また、艇洗い場へ入る際は洗い場前で大変危険ですので、転回はしないようにしてください。一度抜けた後にスイッチバック方式で入るようにしてください。

(参考資料ご確認ください)

### 3. 熱中症について

真夏ではありませんが、湿度や急な気温の変化による熱中症のリスクは存在します。適宜水分補給をするとともに、医務室には医療人員も配置しておりますので、少しでも体調に異変を感じた方は遠慮せずにご利用ください。

### 4. レースについて

予選1日目は午前と午後にタイムレースを実施し、2回のレースの合計タイムで2日目の組み合わせを決定して、全クルーの順位をつけます。

予選のレース間隔は5分と短く、発艇時刻が多少前後することもあります。適宜進行中のレース番号を確認し、スタートに遅れることのないようご協力ください。

出漕クルー数によっては、他種目と一緒に実施することがあります。

フィニッシュ後は速やかにフィニッシュライン付近から移動してください。特に漁港入口付近には長く留まらないようお願いいたします。

レース中の自転車による伴走は禁止されています。

### 5. 審判上の注意

大阪ボート協会主催のレースは①競漕規則および細則、②大会要項、③審判上の注意(本稿)に則りレースを運営する。①と②③間で矛盾もしくは不一致が生じた場合は、②③の条項が優先して適用されるものとする。

0.1 日目タイムレースについて 1日目のタイムレースは審判の配置は発艇および判定員のみである。ステッキボートはあるが、競漕中の主審の配置はないため、留意すること。

1.安全について 選手は競漕に耐えうる健康体であること。気分がすぐれないときは、レース前・レース後を問わず、最寄りの審判員及び役員に申し出ること。大会

中、天候の急変によりクルーの安全が確保できない状況や危険が生じた場合、もしくはそれが予想された場合、大会や続行中のレースを中断することがある。

2.航行ルールについて 別途示されるレース中の航行ルールを遵守し、事故が起こらないよう十分注意すること。航行ルールに違反した場合はペナルティの対象となる。また、本コースの回漕水域には境界ブイが無い。航行の際は他艇に十分注意すること。

3.バウナンバーについて 出艇前にあらかじめ定められたバウナンバーを確認し、正しい番号のバウナンバープレートを正しい向きで装着すること。バウナンバープレートを横向きに装着することは認められず、また未装着はレッドカードを受けることがある。ガンネルへの装着も認められない。

4.監視について 本大会での監視は行わない。舵手計量は行わない。ただし、競漕規則に定められた各事項について審判員により抜き打ち的に実施することがある。

5.発艇および艇の故障について 艇の故障等で発艇定刻に遅れる場合は、速やかに最寄りの審判員に申し出ること。事情を考慮の上、最大 15 分程度発艇定刻を繰り下げる場合がある。ただし、審判に申し出た場合でも発艇定刻に遅れを生じさせた場合にはイエローカードを与える。

6.レース中における注意点 本コースは、1,600m 付近の艇庫側で船台がコース側に張り出し、6 レーンとの間隔が狭くなっている。1,700m から 2,000m にかけては艇庫側の水域が大きく広がってコースと岸が平行でなくなるため、自己のレーンを見失うケースが多く見られる。留意すること。

7.沈・転覆および安全について全種目において、沈・転覆が発生した場合、選手が自力で復帰し決勝線を通過した場合は着順を認める。但し、主審や大会役員が危険、もしくはレース運営に支障があると判断した場合は救助する。落水時にストレッチャーから足が抜けなくなることがあるので、漕手が艇から速やかに離脱できる形式でなければならない。シューズは片手の一連の動作で靴が脱げるような仕組みであり、ヒールロープ を使用する場合は踵が水平以上にならないような長さに調整し、しっかり結んでおくこと。ストレッチャーが艇に残らない構造ですぐに離脱できるシューズ(SRD 等)を用いる場合は適切に装着しておくこと。棧橋にて抜き打ち的にストレッチャーの状況を確認する。その際、競漕規則10条の規定を満たしていない場合、出艇時であれば是正してからのみ出艇を認める。その場合、発艇時刻への遅れは一切考慮しない。また、帰艇時に不備が発覚した場合「レッドカード」とする。水上競技である以上、安全第一で行わなければならない。各団体においては代表者会議に出席した者が必ず本項の内容を各クルーに伝達することとし、レースに出る者は必ず競漕規則10条を熟読の上、レースに臨まなければならない。

8. レース漕了後 回漕時を含め、漁港へ近付いてはいけない。

9.服装について 服装は統一すること。混成クルーについてはユニフォームの統一は要しない。ただしユニフォーム以外については前述の通りとする。マスターズに相当するクルーについては上半身のみの統一(シャツ・帽子・はちまき等)で良いものとする。

10.予選でのレッドカードについてタイムレースでレッドカードを受けた場合は、準決勝以降、下位グループでの出漕とする。その場合タイムレースではタイムは取らないもののレースに正常な競漕速度で随伴すること。ただし、正常な競漕速度でない場合は失格とする。

11.伴走についていかなる場合も、コースの安全を損ねる行為であるため、コースに沿いクルーに自転車伴走することを厳重に禁止する。自転車での伴走を発見した場合は、関係クルーを全て失格にする。安全のため必ず団体内に、「自転車伴走=失格であること」を代表者会議に出席した者が周知すること。また、自転車をいわずに行う伴走も観戦者が多くいるエリアでは控えること。安全維持の程度を超えている場合は競漕委員会による決定に従わなければならない。

12.無線通信機器について 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等、無線通信機器については、競漕規則 64 条で謳われる許可データ(タイム・ストローク・レート・艇速/加速度・心拍数)を収集する目的で使用する場合にのみ艇内に持込むことが許される。レース中(レース用の航行ルールが適用されている全時間帯、本大会においては 16 項で示すコース閉鎖中において)艇外との交信、およびデータの送受信が確認された場合は、失格となることがあるので注意すること。記念写真目的での写真撮影も同様に失格の対象となる。尚、岸から拡声器または無線通信で指示を与えることは禁止されている。また、艇内マイクを用いる場合は、他のクルーに迷惑のかからぬよう、音量には十分注意すること。

13.コース閉鎖について 競漕開始 30 分前にコースを閉鎖する。コース閉鎖中は、レースに出漕するために回漕するクルー以外はコースに入ることはできない。競漕前及び終了後に、コース閉鎖及び解除の放送をする。

コース閉鎖を区切りとして航行ルールを変更するので、注意すること。

## 6. 艇の積み降ろし、積み込みについて

艇の積み降ろし作業は、A艇庫の周囲で行ってください。漕艇センター西側道路(府道29号線)、三井化学正門前道路等では絶対に作業をしないでください。また、作業は漕艇センター前の遊歩道(サイクリングロード)にはみ出ないように、十分に注意してください。

## 7. 艇置き場について

漕艇センター北側(スタート側)の緑地に、漕艇センター南側の駐車場(第5駐車場)に置いてください。なお、小艇(シングルスカル、ダブルスカル)用のラックを漕艇センター敷地内、漕艇センター南側の駐車場(第5駐車場)に臨時に設置しますので、こちらをご利用いただいても構いません。(申込時に使用希望提出済の団体優先)艇を置く際は、コース沿いの遊歩道(サイクリングロード)にはみ出ないようにご注意ください。

最終レース終了後、小艇用のラックは解体しますので降ろしていただきますようお願いいたします。積み込みの時間までは植え込み、漕艇センター南側の駐車場(第5駐車場)に一旦置いてください。

A棟前等はトラックの搬入がありますので、置かないようにしてください。またコース沿いの遊歩道(サイクルロード)にはみ出して置く、遊歩道に置くということはしないでください。

※別紙場内説明図をよく確認してください

#### 8. 艇洗浄について

レース間隔が短いこともあり、帰艇する艇も短い間隔であがってきます。そのため艇庫前での洗浄は短時間をお願い致します。また、ホースについても譲り合いのご協力をお願い致します。

また、洗浄用の手桶を用意しますのでホースが全て使われている場合はこちらもご使用ください。

地面には、艇を配置するラインが引いてありますので参考にさせていただければと思います。

#### 9. その他

各団体において十分な体調管理をお願いします。

今年はキッチンカーの出店は行いません。各個人で昼食の用意をお願いします。

紙くず、ペットボトル等のごみは放置せず、持ち帰っていただくようお願いします。

水上、陸上を問わずいかなる事故についても大会本部は免責とします。

大会期間中の緊急時連絡先は次の通りです。

大阪府立漕艇センター事務所： 072-268-3100

以上